

Introduction

~ まちの人紹介 ~



新規就農 佐々木牧場 (栄丘地区) 佐々木 亮介さん・朋子さん



今回取材に応じてくれたのは、昨年10月から栄丘地区で新規就農された、北海道小樽市出身の佐々木亮介さんと、岐阜県出身の朋子(わいこ)夫婦です。亮介さんは、元農部町役場の職員で、一年前に退職後、雄武町内の農家で研修を開始。4月からは新規就農受け入れ先の農家で経営の引継ぎを受け、10月1日から酪農を開始しました。一方、朋子さんは栄丘地区の吉田牧場の元従業員で、牧場経営は以前からの夢だったのです。

雄武町で酪農に取り組む思いを聞いてみるが、朋子さんは「お隣の吉田牧場で12年間お世話をになり、新規就農をやるなり、この地域でやりたいと思つてになりました。理想的な場所で始めたい」とがでも、とても嬉しげです」と笑顔で答えました。

店や病院が遠いと感じぬい」とあります。自然豊かな土地で新規就農できたりと大変嬉しいと思います」と話す。「自分たちで経営する立場になると、経費などより意識するようになり、従業員の頃とは違った責任の重さを感じます。雄武の農家の皆さんには、親身に話を聞いてくださり、ときにはアドバイスをいただくなび、とても気にかけていただけた、感謝しています」と仕事に対する思いや、近隣農家の方との関わりについても話してくれました。

取材を通して、お一人の酪農にかける強い思いと、地域とのつながりを大切にされている真摯な姿勢が印象に残りました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすることを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

◆編集後記

Editor's note

▼昨年につきましては、急なお願いにもかかわらず広報の取材を受けていただいた町民の皆さん、ありがとうございました。本年につきましても、取材などで皆さまのもとへ伺うことが多々あると思いますが、引き続き『広報おうむ』をどうぞよろしくお願いいたします。(館田)